

◎市立幼稚園の廃園に係る状況の変化について

1. これまでの状況

市立幼稚園の廃園時期については、当初、平成 29 年度末とする方向で検討を進めていましたが、市議会や保護者などを対象とする説明会において、こども育成部で整備を計画している「(仮称) 中央こども園」の開設時期と合わせるべきとのご意見や、私立幼稚園での 3 年保育を考えた場合、時間的に余裕がないなどご意見をいただき、平成 27 年 8 月定例会において、平成 30 年度末で廃園とすることで議決しました。

2. 状況の変化

(1) (仮称) 中央こども園の開設の遅れ

平成 31 年 4 月の開園を予定していましたが、平成 27 年度中の用地取得ができず、平成 28 年第 1 回市議会定例会の補正予算審議において、こども育成部から開園が最低でも一年遅れる旨の説明がありました。

これを受け、諏訪幼稚園の保護者等への説明会の開催は、保護者代表の方に「(仮称) 中央こども園」の開園が遅れる状況を説明し、ご理解のうえ延期させていただきました。

(2) 廃止の撤回等を求める請願と署名の提出

平成 28 年 2 月 12 日に、大楠幼稚園の関係者から廃止の撤回等を求める請願と 6,983 件の署名が提出されました。

保護者等への説明会の開催は、教育委員会での請願の審議が終わった後に開催することで、ご理解をいただき延期させていただきました。

3. 今後の方針

教育委員会事務局としては、状況の変化を踏まえ、廃園を遅らせることを含め、改めて検討することが必要であるとの認識を持っております。

今後は、こども育成部の状況を速やかに共有し、教育委員の皆さまに語りながら、今後の事務の進め方を決めて行きたいと考えています。